

皮膚悪性腫瘍における発生・病態に関わる

癌微小環境の解析

今回、京都府立医科大学皮膚科では、皮膚がんの患者さんを対象に治療の効果や病気の進行の予測に関する臨床研究を実施しております。

実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

本研究の目的は、皮膚悪性腫瘍の診断や効果的な癌治療開発のために、癌細胞自身や癌細胞が育ちやすい環境をつくりだす癌細胞周囲の細胞たちの特徴、そしてそれら細胞たちの関わりを解析し、癌が生存していくのに必要なメカニズムを解明することです。

本研究は基礎的な研究の計画ですので、その結果が研究対象者にすぐに有益な情報をもたらす可能性は低いと考えられます。しかし、本研究の成果は今後の医学の発展に寄与します。その結果、将来、同じような病気に苦しむ方々の診断や予防、治療などがより効果的に行われるようになるかもしれません。

研究の方法

対象となる方について

2000年1月1日から京都府立医科大学附属病院皮膚科・耳鼻咽喉科で悪性黒色腫、乳房外 paget 病、基底細胞癌、有棘細胞癌、頭頸部癌などの悪性腫瘍疾患にて生検や手術などをすでに施行された患者が対象となります。

検査や手術の際の病理組織標本（診断がすでに確定しており、余剰組織と考えられるもの）を解析します。また正常組織検体（悪性腫瘍のない健常の方で良性腫瘍や炎症性皮膚疾患などの診断のための生検・手術の際の病理組織検体で、すでに診断が確定しており、余剰と考えられる組織）を対照組織として用いるため、皮膚科・耳鼻科にて腫瘍以外での診療を受けられた患者様も対象となります。

- ・ 研究期間：医学倫理審査委員会承認後（2024年3月4日）から2028年3月31日
- ・ 試料・情報の利用を開始する予定日： 研究承認日（2024年3月4日）
～2028年3月31日

- ・ 方法

病理医による病理診断がすでに終了した病理検体を使用します。したがって、本研究に参加することによって新しく生検をしない必要はありません。

- ・ 個人情報の取り扱いについて

情報はすべて名前などの個人情報を削除し、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

- ・ 研究組織

研究責任者

京都府立医科大学 医療フロンティア展開学 教授 加藤 則人

研究代表者

京都府立医科大学 皮膚科学教室 講師 丸山 彩乃

研究担当者

京都府立医科大学大学院医学研究科皮膚科学 特任講師 浅井純

京都府立医科大学大学院医学研究科皮膚科学 専攻医 横井友紀

京都府立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授 平野 滋

京都府立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 学内講師 辻川敬裕

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、2028年3月31日までに下記連絡先までご連絡ください。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

【連絡先】

京都府立医科大学 皮膚科

講師・丸山彩乃 電話：075-251-5586

【対応可能な曜日と時間帯】

平日（月曜日から金曜日）：午前10時から午後4時まで